

# ふじのくに 静岡みなと通信

vol.22  
夏11号  
2014.7.24



アメリカの豪華客船「フォーレンダム」清水港初入港

## ～目次～

- 静岡みなと通信「夏11号」発行に  
寄せて(沼津市長)…………… 1
- 静岡県港湾振興会の活動報告 …… 1
- 「平成26年度港湾関係予算の概要」… 2
- 「駿河湾港整備基本計画」…………… 5
- みなとニュース…………… 7
- キラリ☆みなと(田子の浦港) …… 10
- みなと自慢(下田港)…………… 11
- 港こぼれ話…………… 13
- 港湾関係行事予定…………… 15



# 静岡みなと通信「夏11号」発行に寄せて



静岡県港湾振興会副会長  
沼津市長 栗原 裕康

港湾は、海と陸の結節点として物流機能や生産機能、さらには、賑わいを生む交流機能を有し、地域産業の発展や住民生活の向上に寄与しております。

また、現在においては、防災拠点としても重要な役割を果たすことが求められております。

当市の沼津港では、「沼津港港湾振興ビジョン」に基づき、大型展望水門「びゅうお」、水産複合施設「沼津魚市場INO」、マーケットモール「沼津 みなと新鮮館」など、回遊性を考慮し、一体的に整備が進められております。また、平成23年に完成した「ぬまづみなとパーキング2号棟」は、駐車場機能に加え、沼津港周辺での最大規模の津波避難ビルとして、来港者に「安心」、「安全」を提供しております。これらの施設整備の進捗に伴い、賑わい拠点として来港者が増え、近年ではさまざまな民間の事業活動やイベント等の取組が活性化し、年間145万人もの方々に訪れていただいております。

今後も、沼津港が県東部地域の活力の源泉として重要な役割を果たしていくことを期待しております。

私たち「静岡県港湾振興会」は、これからも港湾整備を進めるとともに、利用促進を図るため、積極的に活動してまいります。本誌や本会の活動を通じて多くの皆様に港湾の大切さを御理解いただき、尚一層の御支援を賜れば幸いに存じます。



沼津港全景(写真提供:沼津魚市場(株))

## 静岡県港湾振興会の活動報告

### 日本港湾協会の平成26年度定時総会に出席

平成26年5月28日、茨城県日立市の日立シビックセンターで日本港湾協会の総会が開催され、当振興会からは田辺信宏会長(静岡市長)、石原茂雄副会長(御前崎市長)、中野弘道焼津市長をはじめ、24名が出席しました。

総会では、港湾功労者表彰式が行われ、齋藤恭一様(山省水工(株)東日本支店技術部長)が受賞されました。

次回の平成27年度定時総会の開催地が、静岡県静岡市に決定され、次期開催地を代表して田辺信宏静岡市長が御挨拶されました。



定時総会



次期開催地の挨拶をする田辺静岡市長

# 平成26年度 港湾関係予算の概要

交通基盤部では、災害に強い地域基盤の整備及び陸・海・空の交通ネットワーク機能の拡充を目指し、「安心・安全」「活力・交流」「環境・景観」の基本方針に基づいて、良質な社会資本整備を重点的・効果的に実施する予算を編成しました。

県の平成26年度当初予算は、「駿河湾港」である清水港、田子の浦港、御前崎港の連携を深めて国際競争力を強化するとともに、地方港湾の整備により地域産業の活性化を図る一方、防潮堤などの海岸保全施設の早期整備を推進し防災機能を強化してまいります。

また、財政健全化の推進に取り組むとともに、民間活力の導入、コスト縮減なども引き続き推進してまいります。

## 港湾関係事業の重点施策と主要事業

### 【活力・交流】～陸・海・空のネットワーク機能の拡充～

#### ◎国際海上コンテナターミナルの整備

- コンテナターミナルの防波堤の整備を行います。 5億4,000万円  
【港湾改修事業(国直轄施工)】清水港 新興津地区第2バース
- 岸壁や臨港道路の改良を行います。 1億500万円  
【港湾改修事業】清水港 日の出地区 江尻地区
- コンテナターミナル背後のふ頭用地整備、都市再開発用地の造成を行います。 12億4,000万円  
【起債事業[ふ頭用地整備、臨海部土地造成]】清水港 新興津地区第2バース



清水港新興津地区整備状況

#### ◎国際物流ターミナルの整備

- 港内の静穏度を向上させる防波堤を整備します。 1億8,628万円  
【港湾改修事業(国直轄施工)】御前崎港 女岩地区



御前崎港全景  
(写真提供:清水港湾事務所)



御前崎港防波堤整備状況  
(写真提供:清水港湾事務所)

- 船舶の大型化に対応するため、泊地や航路の水深を深くします。  
【港湾改修事業(国直轄施工)】田子の浦港 中央地区 2億5,000万円
- 荷役機械の機能向上や上屋の耐震補強などの整備を行います。  
【起債事業(荷役機械整備、上屋整備)】田子の浦港 2億4,000万円
- 泊地の浚渫や臨港道路などを整備します。  
【港湾改修事業】田子の浦港 港内地区・中央地区 6,800万円



田子の浦港全景



田子の浦港臨港道路7号線の整備状況

- 港内の底質に含まれるダイオキシン類を除去し、生活環境の改善を図ります。  
【公害防止対策事業】田子の浦港 7億6,000万円



田子の浦港泊地浚渫状況  
(写真提供:清水港湾事務所)

### ◎競争力のある、使いやすい港づくり

- 港湾競争力の向上を図るため、ポートセールス・ポートセミナーの開催や港湾使用料の減免措置(インセンティブ)の導入などを行います。  
【港湾企画振興費】清水港、御前崎港 2,806万円

- 利用促進体制の構築や地域振興戦略の検討を行います。  
【港湾調査】 御前崎港 926万円

### ◎地域連携・観光振興等を通じた地域の活性化

- 不足している物揚場の整備を進め、地域産業の振興を図ります。  
【港湾改修事業】伊東港、下田港、沼津港 1億6,250万円



下田港整備状況

- 岸壁や臨港道路、跨線橋、船揚場などの改良を行います。  
【港湾改修事業】清水港、田子の浦港、御前崎港、伊東港、下田港、松崎港、浜名港 1億6,575万円

- 港振興に取り組む地元市と協調し、小型船だまりの整備を行います。  
【港湾改修事業】清水港 新興津地区 3億9,000万円



伊東港整備状況

## ⚡【安全・安心】～災害に強い地域基盤の整備～

- 避難船舶を守り、津波低減効果が期待できる防波堤の整備及び、既存防波堤の粘り強い構造への改良を行います。

15億1,698万円

【港湾改修事業(国直轄施工)】下田港、清水港、御前崎港



下田港防波堤整備状況

- 台風や津波による高潮・高波から、生命財産を守る防潮堤や津波避難施設を整備します。

また、水門や陸閘を遠隔化・自動化に改良して、一元管理できるようにします。

5億5,840万円

【海岸保全(高潮対策)事業】清水港海岸、御前崎港海岸、沼津港海岸、宇久須港海岸



御前崎港海岸津波対策

## ⚡【環境・景観】～自然と調和する美しい景観の創造と保全～

- 海岸の背後に、親水広場や高台などを整備します。

3,600万円

【海岸環境整備事業】熱海港、榛原港



熱海港海岸渚地区の利用状況

- 港湾を訪れる人々や地域の皆様が利用する快適な広場・公園の整備を行います。

1億1,700万円

【港湾環境整備事業 実施箇所】清水港、田子の浦港



田子の浦港富士緑地の利用状況

## ⚡【共通分野】～社会資本の適確な維持管理・更新の実施～

- 港湾施設の老朽化対策に併せ、社会情勢の変化を踏まえた機能向上を図ります。 6億1,000万円  
【予防保全対策事業 実施箇所】清水港

- 港湾施設の更新・修繕を適切に実施するため、維持管理計画の作成を行います。 1,440万円  
【維持管理計画作成 実施箇所】田子の浦港、熱海港、伊東港、浜名港

# 「スマート・ポート 駿河湾」の実現に向けて ～駿河湾港整備基本計画の推進～

## 駿河湾港整備基本計画の策定

静岡県では、清水港、田子の浦港、御前崎港の3港を「駿河湾港」と称し、役割分担・相互補完をすることで港湾サービスの向上やコストの削減を図る「駿河湾港アクションプラン」を平成23年3月に策定しました。

このアクションプランで定めた3港の連携の考え方を踏まえ、「物流・産業」、「防災・危機管理」、及び「交流・生活・環境」の3つの視点から、概ね30年先を見通した駿河湾港として推進する取組とその実現に向けた必要な施策を「駿河湾港整備基本計画」として取り纏めました。計画の策定に当たり、3港の機能分担や相互補完を通じた物流面の強化と効率化の推進、東日本大震災を受けた防災対策、富士山の世界遺産登録を踏まえたにぎわいづくりなど、新たな課題への対応も重視しています。



## 駿河湾港の将来像

### 1.課題と果たすべき役割

【物流・産業】	【防災・危機管理】	【交流・生活・環境】
<p>(1)課題 トータル物流コストの低減と駿河湾港の役割の強化</p> <p>(2)果たすべき役割</p> <p><b>Support 支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本県の地域経済と産業(雇用)を支える</li> <li>本県や周辺都県のエネルギー・食糧・生活物資を安定的に供給する</li> <li>大都市圏の負荷を軽減する</li> </ul>	<p>(1)課題 安全・安心な港まちづくりと物流機能の継続性の確保</p> <p>(2)果たすべき役割</p> <p><b>Safety 安全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県民の暮らしの安全・安心を守る(減災対策の促進)</li> <li>本県の産業活動を継続させる</li> <li>災害時における広域支援機能を果たす</li> </ul>	<p>(1)課題 3港の個性を活かした魅力あるウォーターフロントの創出</p> <p>(2)果たすべき役割</p> <p><b>Spark 活気</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>湾内定期船やクルーズなど多様な海上交通を支える</li> <li>快適な就業・生活環境を提供する</li> <li>駿河湾の豊かな自然環境を保全・継承する</li> </ul>

### 2.基本理念

我が国や我が国を取り巻く世界は、「新しい時代」を迎えつつある。その中において駿河湾港は、“知恵と工夫”により3つの役割を確実に果たす「Smart・Port」として、静岡県の持続ある発展を支えるとともに、国土の中央にある地理的ポテンシャルを活かしてその機能を広域的に発揮し、「新しい時代にふさわしい日本の玄関」を目指すものとする。



駿河湾港の連携と機能分担のイメージ

# 各港の整備基本計画

## 1. 整備方針

清水港は県内のものづくり産業を支える国際物流の玄関口と位置付け、物流機能の集約・再編を柱に据えます。田子の浦港は富士山を望める環境を活かして交流機能を拡大するほか、背後の製紙産業を支えるべくパルプ取扱機能を拡充していきます。御前崎港は県西部のものづくり産業を支える物流拠点として、RORO新規航路に備えた施設改良等を行っていきます。

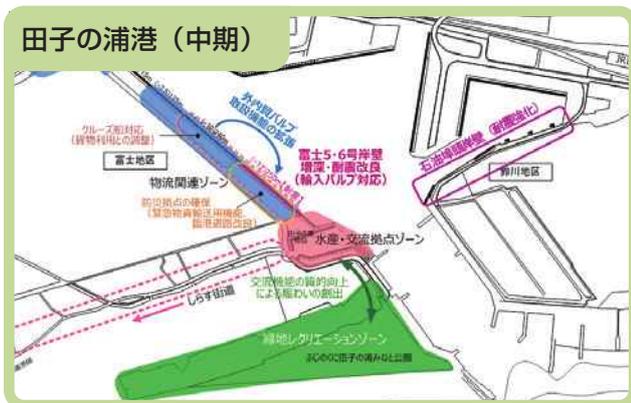
## 2. 取組施策

【各港の整備のイメージ】

【各港の取組施策】



- 物流・産業**
- ・新興津・興津地区へのコンテナターミナル集約
  - ・袖師地区へのバルク貨物集約
- 防災・危機管理**
- ・緊急物資輸送用耐震強化岸壁の整備
  - ・埋立地に県内発生大規模災害ガレキを受入
- 交流・生活・環境**
- ・日の出埠頭クルーズ船受入れ体制の強化



- 物流・産業**
- ・中央埠頭バルクターミナルの機能強化
  - ・富士地区パルプ取扱機能の拡充
- 防災・危機管理**
- ・緊急物資輸送用耐震強化岸壁の整備
- 交流・生活・環境**
- ・水質・底質改善の継続
  - ・交流・観光施設の拡充



- 物流・産業**
- ・女岩地区コンテナターミナルの拡充
  - ・ROROターミナルの強化
- 防災・危機管理**
- ・埋立地に県内発生大規模災害ガレキを受入
  - ・防波堤を粘り強い構造へ改良
- 交流・生活・環境**
- ・再生可能エネルギーの利用促進

## 3. 今後の展開に向けて

本計画に基づき、早期に取り組むべき施策については、その実施に向けた具体的な検討を進めていきます。それ以外の施策については、社会経済情勢を踏まえ、緊急性・必要性に応じて適切な時期に詳細な検討を行い、実施に向けた対応を図っていきます。



# みなとニュース



## 福田漁港・浅羽海岸 サンドバイパスシステムの完成

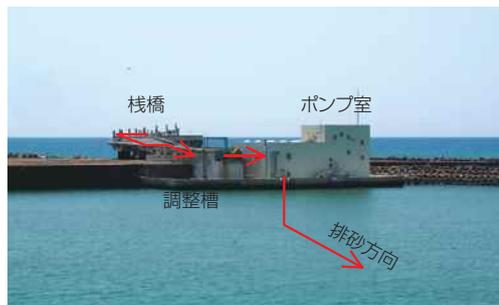
静岡県が管理する第4種漁港の福田漁港は、愛知県伊良湖岬から静岡県御前崎まで東西約117kmに及ぶわが国有数の美しく豊かな砂浜を有する遠州灘海岸の東部に位置し、シラス漁等の基地として、また荒天時における避難港として利用されています。

近年、一級河川天竜川からの土砂供給の減少などにより、漁港東側(沿岸下手側)の浅羽海岸にて海岸浸食が進んでいます。また、沿岸漂砂が漁港西側(沿岸上手側)の防波堤に遮られることで港口に土砂が堆積し、漁船の出入りに支障をきたしています。これらを同時解決するため、平成19年度からサンドバイパスシステムの工事に着手し、平成25年度末に完成したところです。

今後は、2年にわたる試験運転を行い、有識者の検証委員会によるシステムの検証などを実施し、平成28年度からの本格稼働を目指していく予定です。サンドバイパスシステムは日本国内初の試みであり、埋没対策と養浜に関する「先進モデル」として全国的にも注目されています。



径300mm排砂管と吐出し状況(右下)



ポンプ場(栈橋、調整槽、ポンプ室)

## 今年の清水港は客船ラッシュ!

これまでの客船誘致活動の成果と、昨年の富士山世界文化遺産登録のダブル効果で、今年度は例年の約2倍の14隻の客船の入港が予定されています。

4月13日(日)には、うっすらと富士山が見守る中、ホーランド・アメリカ・ライン所属の「フォーレングム」が初入港しました。乗船客は、清水港に着岸すると、早速「三保松原」や「富士山本宮浅間大社」、「お茶の郷博物館」などへのオプションツアーへ出かけ、観光を楽しみました。

4月29日(火・祝)には、クリスタル・クルーズ所属の「クリスタル・シンフォニー」が12年ぶりに寄港しました。あいにくの雨となりましたが、歓迎セレモニーのほか、お茶会、折り紙、着物の着付体験、芸者踊りの披露など、日本の伝統文化を体験できるさまざまなイベントを開催し、多くの乗客と客船ファンで終日にぎわいました。出港時には、和太鼓や吹奏楽の演奏に多くの乗客が船のデッキから手拍子し、名残惜しそうに出港していきました。



船長、望月客船誘致委員会会長、ふじっぴーと記念撮影



12年ぶりに入港した「クリスタル・シンフォニー」

## 第42回沼津水産祭を開催

毎年恒例の沼津港最大の祭典「沼津水産祭」が平成26年5月10日(土)、沼津魚市場をメイン会場に開催され、魚食普及やみなとの賑わい創出を目的に、海産物の試食・販売、珍魚や巨大魚の展示、料理教室、ゲームやチャリティーイベントなど様々な催しが繰り広げられ、なかでも「体験さかなセリ市」は人気で、子供たちも混じってセリ人の掛け声とともに大きな声でセリ落としていきました。クイズショーでは、日本一深い湾といわれる駿河湾に生息する多様な深海生物の話題に関心を集めていました。

そのほか、ひものや生しらすの試食、あじの釣堀や海産物が当たる輪投げゲーム、特別イベントとして行われた漁船の体験乗船では、順番待ちの長い行列ができました。当日は天候にも恵まれ、約5万人の来場があり、静岡県東部の水産物の流通拠点である沼津港ならではの海の恵みを満喫していただきました。



「体験さかなセリ市」ではセリ人と参加者の大きな声が響き渡る



深海生物の謎に迫る「クイズ深海王」

## フラワーショー&インポートバザール大盛況!

「フラワーショー&インポートバザール2014」が、5月24日(土)・25日(日)の2日間、清水マリナターミナルで行われました。

静岡市清水区で生産されているバラやガーベラを始めとする洋花の展示・販売や、フラワー教室、幼稚園児・保育園児による「海の絵・港の絵」の展示などが行われ、「三保松原」をイメージした花のオブジェが多くの来場者の目を引き付けていました。インポートバザールコーナーでは、海外の衣料品、雑貨の販売のほか、韓国、タイ、バングラデシュなどの飲食ブースが出店し、会場は異国情緒に溢れていました。

清水マリナパークでは「シズオカ カヌー ウィーク2014」も同時開催されました。「カンヌ映画祭」の時期に姉妹都市の静岡市でも映画イベントを!と始まった「シズカン」。「海辺のマルシェ」には、ワインやチーズなどフランスを感じられるお店が並び、日が沈んだ後は野外スクリーンで映画を楽しむことができ、清水港周辺は終日多くの人で賑わいました。



花で表現した「富士山と三保松原」



「シズオカカヌーウィーク 海辺のマルシェ」

## 西部地区貿易懇談会で清水港をPR

清水港ポートセールス実行委員会は、平成26年2月18日、静岡県西部地域の荷主企業等を招待し、浜松市内で西部地区貿易懇談会を開催しました。

最初に、主催者を代表して望月薫副委員長が挨拶し、平成25年5月に新興津第2バースの供用を開始したことにより貨物の荷役や搬出入の効率性が一段と高まり、今まで無かったトランシップ貨物の取扱いが急増するなど整備効果が早速現れていることを紹介し、同港の他港に勝る利便性を訴えて利用促進を呼び掛けました。

続いて、静岡市出身でテレビのコメンテーター等多方面で活躍している東京大学大学院教授の伊藤元重氏が、「日本経済の見通しと課題」をテーマに講演し、アベノミクスの第3の矢である「民間投資を喚起する成長戦略」において、エネルギー電力システム、オリンピック、TPPを始めとするグローバル化に関する改革は、民間投資を喚起する上で特に重要であると主張するとともに、日本も法人税率の引下げ議論を進めるべき、との持論を展開されました。

その後開かれた懇談会では、活発な意見交換が行われました。



講演する伊藤元重教授



懇談会の様子

## 御前崎港視察会の開催

御前崎港ポートセールス実行委員会(静岡県、御前崎市、牧之原市及び民間事業者で組織)は、平成26年5月26日に荷主企業、船会社等を対象に御前崎港視察会を開催し、200人を超える参加者で大変盛り上がりしました。

御前崎港女岩地区国際物流ターミナルでは、参加者は、コンテナ船への荷役作業やコンテナの蔵置状況等を見学しながら、荷役担当者から荷役方法などの説明を受け、普段見ることのないコンテナクレーンによる荷役作業を写真に撮っていました。

場所を変えて、午後は、副委員長である石原茂雄御前崎市長が挨拶し、御前崎港の更なる利用を呼びかけました。また、進藤弘之静岡県御前崎港管理事務所長によって御前崎港の就航航路や陸上交通ネットワーク等が説明され、御前崎港に対する理解を深めることができました。

この視察会は、毎年開催しており、企業の皆様に、御前崎港の実状や荷役作業等を見学していただくことにより御前崎港への理解を深めていただく良い機会であるとともに、主催者として、企業の皆様の御意見を直接聞かせていただく貴重な場となっております。



コンテナ船への荷役作業のデモンストレーション



荷役担当者による荷役方法の説明

# キラリみなと

～輝く人まち～

富士市 港湾振興室

各港で取り組んでいる港を活用した地域おこしや、経済の活性化への取り組みを紹介していきたいと考えております。参考としていただくとともに、紹介したい取り組みがございましたら、寄稿をお願いいたします。

富士市の田子の浦港は、駿河湾臨海工業地帯の拠点港として昭和36年に開港し、昭和39年には重要港湾、昭和41年には関税法による開港の指定と、名実ともに国際港として順調に発展してきました。



田子の浦港

港の背後地には、食品・化学工業・紙パルプ製造事業所等が立地しており、これらの産業の原材料供給基地として、また国内外海上輸送網の拠点として、本市や静岡県東部はもとより山梨県内等の産業経済を支える港として大きな役割を果たしています。

このような中、平成25年6月には富士山が世界文化遺産に登録され、富士山を海拔0mから山頂まで最も間近で眺められる港として注目を集め、工業港としての機能だけではなく観光面からも大きな期待が持たれています。

はじめに、この田子の浦港の漁港で水揚げされるシラスについて、少しPRさせて下さい。シラスをご存知のとおり主にカタクチイワシの稚魚です。ここ田子の浦のシラスは「一艘曳き」という独自の漁法により少量かつ短時間で獲ることから魚体を傷つけることなく水揚げがされ、「鮮度が抜群」「旨みが濃い」と、地元をもちろんだ多くの観光客の皆様から大変な人気があります。

某日本酒のテレビCMの中で、富士山と漁港をバックに「〇」とやっているのは、実は田子の浦港なんですよ？来年の夏まで放送されますので、みなさん注目して見てください。

本市では、このシラスと港周辺のにぎわいづくりをドッキングさせた観光プロジェクト「富士山しらす街道プロジェクト」を平成

22年度から推進しています。昨年は、シラス丼で売出し中の「田子の浦漁協食堂」を中心とした富士山しらす街道には、シラスを求めて7万1千人のお客様が訪れています。

この田子の浦漁協食堂では、4月から11月までの期間限定で「ぷりぷり生シラス丼」や「釜揚げシラス丼」をはじめ、シラスの沖漬けと卵黄を丼ぶりにした「赤富士丼」等を提供しています。



赤富士丼

普段は競りを行っている場所に食堂を設け、雄大な富士山と漁船を舫でいる漁港を目の前にしながら食事をするのが好きになっています。

徐々にではありますが他県からのバスツアーで寄って頂けるようになり、今年の3月には1週間で162台の観光バスで賑わいました。

この他にも、毎年開催されている田子の浦港シラス祭りでは、シラスをはじめとする駿河湾の幸や多彩な海産物の即売のほか、シラス丼の提供、マグロ解体ショーや模擬競り、漁船体験乗船などのイベントが行われ、市内外の多くの皆様が田子の浦港で楽しいひと時を過ごしています。



漁協食堂の様子

このようなことから、田子の浦港のさらなる活性化に向けて、本年度は観光・交流の促進、にぎわいづくりの創造と、防災・減災を目的としたビジョンの策定に取り組み、新たな「産業港・田子の浦港」の将来像を描く計画をしています。

今後は、従来の工業港としての機能整備を行いつつ、港周辺に点在する観光資源を線で結び、新たな観光エリアとして整備することで、港が多くの人が訪れ、親しまれるスポットとなるよう、田子の浦港振興ビジョンを柱として、田子の浦港の新たなにぎわいを、官民一体となって創出していきます。

(写真提供：富士山観光交流ビューロー)

# みなと“白慢”

下田市建設課

～多種多様な催し～

## 1. 黒船祭

徳川の幕府は長い間、外国と貿易をしない、いわゆる鎖国政策をとっていました。

しかし、今から160年ほど前、海外に進出したヨーロッパの国々やアメリカ合衆国の勢力がアジアまでのびてきて、日本の近海にも外国船がたびたびあらわれるようになりました。



現在の下田港



黒船祭パレード

そして1854年、ペリー提督率いる黒船が来航し日米和親条約を締結し、鎖国政策は終止符を打たれ、下田港が日本で最初に開港され、横浜港が開港されるまでの5年間、開港場として栄えました。

毎年5月には、黒船来航や開港を記念した「黒船祭」が開催され、米国大使をはじめ米海軍や自衛隊の派遣艦・音楽隊・カラーガードなどが参加し、多くの観光客も訪れ賑わいを見せています。

## 2. 海上花火大会

黒船祭は5月の第3週の金、土、日の3日間行われますが、初日の夜には、下田港を舞台にした花火大会が行われます。

打上げ場所が5箇所あるため、間断なく花火の打上げが続き、時間の経過を忘れる程です。ラスト5分は誰もが息を呑む大迫力のエンディングとなっております。



海上花火大会

### 3. マリンフェスタ下田

毎年7月には、下田港内にて「マリンフェスタ下田」が行われています。B級グルメを含む多くの露店が並び、100kgを超える氷を彫り上げる氷彫刻の実演や、カジキの解体ショーなど多くのイベントがあります。



多くの露店で賑わっている



マリンフェスタ下田

### 4. 国際カジキ釣り大会

「マリンフェスタ下田」の開催期間中に行われる「国際カジキ釣り大会」は、日本で最大規模の釣り団体が催すイベントの中でも最大の大会であり、全国各地から多くの釣り名人が集まり競っています。



カジキ釣り大会表彰式の様子

### 5. 風の花祭り

2002年にオープンした「まどが浜海遊公園」は下田港に面した広い公園で、国道135号沿いにあり、ドライブの合間に一休みするにも最適なスポットです。



毎年テーマが変わる花祭り



この年のテーマは「虫むしパーク」

毎年3月から4月にかけて「風の花祭り」が行われ、下田市内の保育園・幼稚園・小学校・中学校の児童、生徒全員が作った16,000本以上もの花(かざぐるま)たちが元気いっぱいにもわっています。下田の風に吹かれてくるくと元気に回る花のかざぐるまに、多くの人が癒されています。

期間中には、かざぐるま作り体験が毎日開催され、世界に一つの自分だけのかざぐるまを作ることできます。

## 「清水マリンパーク」のイベント広場 (城壁風「立体遊歩道」)について

元静岡県交通基盤部焼津漁港管理事務所長  
元静岡県建設部港湾整備室長  
川福 茂



清水港日の出地区に「清水マリンパーク」のイベント広場があります。この広場の外周にある、港湾環境整備事業で施工した城壁風「立体遊歩道」の設計当時の思い出話について、かなり曖昧になってきた記憶を頼りに少し触れてみたいと思います。



平成元年当時の日の出地区(提供:清水港管理局)

私が日の出地区の環境整備事業と関わりを持ったのは、平成元年～3年に港湾課環境係(当時)に配属された20年以上昔のことです。

当時は事業が始まったばかりで、イベント広場の外郭となる物揚場や人工海浜などの埋め立て工事に着工する直前でした。

イベント広場は、埋立申請書の利用計画図ではタイル舗装とその外周に遊歩道と並木が配置された平面図がある程度でした。そこで具体的な整備計画を作るため、清水港管理局からコンサルタントに設計業務を発注し複数の比較案が提示されてきた中で、私と現場担当者の目に付いたのが城壁案でした。それは遊歩道を立体化して、外観を中世～近世の西欧の城壁風とし、そ

の上部を歩きながら広場内のイベントや水面のヨットなどを俯瞰できる様にするというものです。



現在の清水マリンパークと城壁風「立体遊歩道」

当時はバブル経済(昭和60年代～平成3年ぐらい)の最盛期で、それまで港湾の基本施設の整備を中心に予算配分されてきた時代から、環境整備への配分が大幅に伸びる時期になっていました。その勢いに乗って、比較案の中で一番バブリーな城壁案で進めて行こうと私と担当者は意気投合しました。しかし、この案が採択されるためには、いくつかの関門もありました。

遊歩道を立体化することの必要性や効果、別案との優劣の比較、さらに立体化となると鉄筋構造となり、埋立地ですから杭基礎も必要で、城壁風とするための外装費用等々、事業費もかなりの増額となります。

これらを対外的に説得力をもって説明できる資料は乏しく、港湾課内でも反対意見や実現性を疑問視する声もありました。

そこへ救いの手を差し伸べてくれたのが五建(旧第

五港湾建設局 現中部地方整備局港湾空港部)の海域整備課長で、港研(旧港湾技術研究所 現港湾空港技術研究所)の斎藤潮主任研究官(現東工大教授)に城壁の話をしたところ、この案は良い考えだとの意見を頂いたと連絡をもらいました。斎藤研究官は市民に親しまれる港について、景観面や歩行心理面から研究をしている方とのことでした。

そこで早速、研究官に清水港管理局まで来て頂き勉強会を開きました。「人間は茫洋とした空間に置かれると居心地の悪さを感じ、適度に囲まれた環境に置かれると居心地の良さを感じる。従ってイベント広場に城壁を配して囲繞感(いにようかん)を持たせることは、空間処理手法として適切である。」と言う様な内容のお話をして頂き、城壁案に港研のお墨付きを貰った様な形になりました。

その後委託した「清水港日の出緑地景観形成調査報告書(日本港湾協会)」の中でも「富士山への視線誘導の手段としては壁、列柱、並木等があるが、囲繞感を形成するためには城壁案が最適」と、富士山への眺望を誘導する効果も含めて城壁が推奨案となっています。

予算面では、かなり大幅な事業費の増額にもかかわらず説明に苦労した記憶はありません。多分、港研お墨付きの提案だった事と、この頃から始まった港の景観形成に対する積極的な取り組みの流れに乗ったことが理由だと思います。

その後、現場担当者からJRでは鉄道高架下の空間を店舗や事務所、倉庫等として貸し出しが出来るよう、事前に建築基準法に基づく建築確認を受けているという話がありました。そこで、その様な可能性があるとは思いませんでしたが城壁下の空間にも建築確認を受けておくことにしました。施工に当たっては、土木屋には不慣れな建築物の設計・施工と、この頃始まった「みなと色彩計画」への対応など、担当者は大変な苦労をしたという話を聞きました。

城壁下は夏場の日差しや雨を避けることのできる屋根付の空間ですから、イベントの際はここに仮店舗を出店してもらい、ビール等で飲食を楽しんでみたいというのが当時の想いでした。



出店、仮店舗等に貸し出し可能な城壁下の空間

先日、たまたまテレビで「ナニコレ珍百景」という番組を見ていたところ、「清水マリンパーク」という名前が出てきました。この番組は視聴者が投稿した内容を、審査員全員が「珍」と認定すると「珍百景」に登録されるというもので、清水マリンパークでは「聞きづらい音声案内」と言う投稿がされていました。イベント広場の入口にパーク内施設を音声で説明する案内板があり、「マリンパークの最新情報」というボタンを押すと、アナウンスがたどたどしい上に、最後に「おつく…お・く・つろぎ・下さい」と言葉がつかえていると言うものでした。これを審査員全員が「珍」と認定し、見事(?)珍百景に登録されていました。

今後、「清水マリンパーク」の名物になって欲しいものです。



「ナニコレ珍百景」に登録された音声案内板

# 港湾関係 行事予定

(平成26年8月1日～平成27年1月31日)

日 程	内 容
毎月第1日曜日	海湖館朝市(湖西市)
8月1日(金)～8月3日(日)	第67回 清水みなと祭り(8/1・2港かつぼれ総おどり、8/3海上花火大会)(静岡市)
8月1日(金)～8月4日(月)	あたまビールまつり(熱海市 親水公園)
8月2日(土)	御前崎みなと夏祭2014(御前崎市 マリンパーク御前崎)
8月3日(日)	伊豆山温泉納涼海上花火大会(熱海市 伊豆山港)
8月3日(日)	沼津千本浜トライアスロン大会 チームケンスカップトライアスロン駅伝大会(沼津市 千本浜)
8月5日(火)・8日(金)・17日(日)・20日(水)・29日(金)	夏季熱海海上花火大会(熱海市 熱海港)
8月8日(金)	弓ヶ浜花火大会(南伊豆町 弓ヶ浜海岸)
8月10日(日)	相良海上花火大会(牧之原市 さがらサンビーチ)
8月10日(日)	按針祭海の花火大会(伊東市 伊東港海岸)
8月12日(火)	多賀海上花火大会&ビールフェスティバル(熱海市 多賀湾/長浜海浜公園)
8月14日(木)・8月15日(金)	安良里夏祭り(西伊豆町 安良里港) 14日 花火大会
8月14日(木)	焼津海上花火大会(焼津市 焼津港外港)
8月15日(金)・8月16日(土)	田子港祭り(西伊豆町 田子港) 15日 花火大会
8月16日(土)	客船「飛鳥II」入港(静岡市 日の出埠頭)
8月16日(土)	伊豆多賀温泉 百八体流灯祭(熱海市 多賀湾)
8月16日(土)	網代温泉花火大会(熱海市 網代湾)
8月18日(月)～8月20日(水)	土肥サマーフェスティバル(伊豆市 土肥港湾内)
8月23日(土)・24日(日)	第8回 ジュニアユースウインドサーフィン選手権(御前崎市 マリンパーク御前崎)
8月25日(月)・8月26日(火)	伊豆山温泉さざえ祭り&花火大会(熱海市 伊豆山浜特設会場)
8月30日(土)	えんばい朝市(浜松市 舞阪漁港)
8月30日(土)・8月31日(日)	WIND BLOW(ウインドブロー)(牧之原市 相良シーサイドパーク)
8月31日(日)	まきのはらマキティー カヤックフィッシング ジャパンカップ2014(牧之原市 地頭方漁港)
9月6日(土)・9月7日(日)	弓ヶ浜ビーチバレーフェスタ(南伊豆町 弓ヶ浜海岸)
9月6日(土)・9月7日(日)	アタミアロハフェスティバル2014(熱海市 親水公園)
9月6日(土)・9月7日(日)	ビッグシャワー海洋浴の祭典(下田市 吉佐美大浜海岸)
9月13日(土)・9月14日(日)	国際OWSLレース(南伊豆町 弓ヶ浜海岸)
9月14日(日)	客船「にっぽん丸」入港(静岡市 日の出埠頭)
9月14日(日)	オータムフェスト in やいづ2014(焼津市 焼津港内港)
9月15日(月・祝)	秋季熱海海上花火大会(熱海市 熱海港)
9月28日(日)	第14回 田子の浦港漁協しらす祭り(富士市 田子の浦漁協協同組合)
9月28日(日)	大井川釣り大会(焼津市 大井川港)
9月30日(火)	客船「セブリティ・ミレニアム」入港(静岡市 日の出埠頭)
10月5日(日)	南伊豆弓ヶ浜アクアスロン大会(南伊豆町 弓ヶ浜海岸)
10月12日(日)	清水港マグロまつり2014(静岡市 JR清水駅みなと口周辺)
10月19日(日)	清水港興津フェア(静岡市 興津国際流通センター)
10月22日(水)	客船「にっぽん丸」入港(静岡市 日の出埠頭)
10月23日(木)	経済と暮らしを支える港づくり全国大会(砂防会館)
10月24日(金)	客船「セブリティ・ミレニアム」入港(静岡市 日の出埠頭)
10月27日(月)	客船「セブリティ・ミレニアム」入港(静岡市 日の出埠頭)
11月1日(土)	小川港さばまつり(焼津市 小川港)
11月7日(金)	大井川港開港50周年記念式典(大井川港管理事務所)
11月16日(日)(予定)	千本浜ファミリーマラソン大会(沼津市 千本浜防潮堤)
11月中旬	第4回 御前崎マリンパークマラソン(御前崎市 マリンパーク御前崎)
11月21日(金)～11月25日(火)	帆船「海王丸」入港(静岡市 日の出埠頭)
12月7日(日)・14日(日)・23日(火・祝)	忘年熱海海上花火大会(熱海市 熱海港)
12月22日(月)	客船「飛鳥II」入港(静岡市 日の出埠頭)
12月22日(月)	とっておき冬花火大会(伊東市 伊東港海岸)
12月23日(火・祝)	客船「ぱしふいっくびいなす」入港(静岡市 日の出埠頭)
平成27年1月1日(木・祝)	初日なびらイベント(御前崎市 観光物産会館)

## 編集後記 |

夏空のまぶしい季節となりました。皆様いかがお過ごしですか？

今号の1頁「活動報告」でも掲載しておりますが、来年度の日本港湾協会定時総会が平成27年5月27日(水)「静岡市」で開催されます。静岡県内開催は、平成3年旧清水市での開催以来です。盛大かつ無事に開催されることを祈るばかりです。(K.H.)

当会では、会報誌面充実のため皆様からの港に関する情報やニュース・寄稿をお待ちしています。

関係団体の活動、イベントPRなど…どんな些細な事でも構いません。詳しくは下記連絡先までご連絡ください。

**静岡みなと通信**

**編集・発行 静岡県港湾振興会**

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部港湾局内

TEL.054-221-3052 FAX.054-221-2389 E-mail:shizu.kouwan@gmail.com